

平成30年度 就学前人権教育研究協議会C（実践発表） 実施要項
 ー子どもを中心にした、人権尊重の就学前教育をめざしてー

- 1 目的 人権教育の観点に立った幼稚園・こども園・保育所等の子どもを中心にした取組みの実践発表、協議等を通じて、その在り方と指導スキルの向上についての研修を実施する。
- 2 対象者 幼稚園・府立支援学校幼稚部・保育所・認定こども園・認可外保育施設の所属長及び教員

募集人数 450名

3 研修内容等

回	日時	研修内容〔実践発表・研究協議〕	講師等
1	1月24日（木） 14:00～17:00	【第1分科会：障がい理解】 「ぼくはこまった せんせいもいっぱいいっぱい」	発表：豊中市立東丘こども園 保育教諭 奥代 英明 保育教諭 坂角 亜希子 助言：ちゃいんどネット大阪「障害共生保育」研究プロジェクト 共同代表 杉本 節子
		【第2分科会：保幼小連携】 「仲間っていいなーいろいろな人とかかわりを通してー」	発表：高槻市立上牧幼稚園 主任教諭 迫田 諭子 助言：大阪多様性教育ネットワーク 共同代表 沖本 和子
		【第3分科会：子育て支援】 「多様な子育て支援の必要性と課題を考える」	発表：認定こども園常磐会短期大学付属常磐会幼稚園 副園長 大森 智美 助言：幼保連携型認定こども園 たちばな幼稚園 理事長・園長 邨橋 雅広

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区荻田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
 JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 人権教育研究室

- 6 その他 (1) 受付は30分前から
 (2) 印鑑を持参すること
 (3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること
 (4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと
 (5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと

平成 30 年度 研修のシラバス

1. 研修名	<p>就学前人権教育研究協議会 C (実践発表) ー子どもを中心にした、人権尊重の就学前教育をめざしてー (研修番号 5600)</p>
2. 研修のねらい	<p>人権教育の観点に立った幼稚園・こども園・保育所等の子どもを中心にした取り組みの実践発表、協議等を通じて、その在り方と指導スキルの向上についての研修を実施する。</p> <p>目 標</p> <p>① 人権が尊重された就学前教育の在り方について理解する。 ② 人権教育の推進体制や地域・保護者・関係機関等との連携の在り方について、認識を深める。 ③ 人権教育の効果的な指導方法等について認識を深め、人権教育の取り組みについての展望を持つ。</p> <p style="text-align: center;">「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第 1・2 期 1・9・11・13・15</p>

3. 研修課題とねらい等

回	研修テーマ	内 容	準備物・事前課題
1	<p>第 1 分科会 ぼくはこまった せんせいも いっぱいいっぱい</p>	<p>「やらない！いや！だいきらい！」どの子ども、衝動的な気持ちにならずに、見通しを持てる活動って何なのか…。友だちと心の底から一緒に楽しめ、共有・共感できる活動を探りながら、担任自身も悩みつつ、関わりや信頼関係を深めていった 2 年間で報告します。</p>	
	<p>第 2 分科会 仲間っていいなーいろいろな 人とのかかわりを通してー</p>	<p>クラス活動に入ることが難しかった子どもをクラス集団に位置付けることを大切にしてきました。小学校入学後を見通して、卒園前に小学 5 年生との交流を行っています。園・地域・学校が連携して、その子どもに寄り添うことで、すべての子どもたちが安心して思いを出せるようになり、小学校での生活を送っている様子を報告します。</p>	
	<p>第 3 分科会 多様な子育て支援の必要性和 課題を考える</p>	<p>認定こども園に移行し、保護者の抱える課題がより多様化し、子育て支援が必要になった。その中で新たな課題に対応するために、保護者のエンパワメントをめざして子育て事業に取り組んできた。 本園で取り組んできた子育て支援事業について、新たに課題としている点について事例をとおして報告します。</p>	